

令和3年第1回厚真町議会定例会一般質問通告一覧表

(令和3年3月9日)

通告議員氏名	質 問 の 要 旨	備考
<p>1 伊藤富志夫</p>	<p>1 災害公営住宅について</p> <p>(1) 先般行われた臨時会における行政報告で、「災害公営住宅等への融雪水等の流入について」報告を受けたが、なぜこのような基本的な問題が発生したのか、また、抜本的な対策をどのように考えているのか、具体的に問う。</p> <p>(2) 災害公営住宅に来客用の駐車場が必要ではないか。 また、入居者が集うことができる「談話室」のようなものを設置できないか。</p> <p>(3) 国民年金生活者にとって、災害公営住宅の家賃や暖房費の負担は大変大きいので、今後、家賃の軽減や冬的生活支援制度の特別版のようなものを設けることはできないものか。</p> <p>2 高齢者等の冬的生活支援事業について</p> <p>(1) 高齢者等の冬的生活支援事業が行われているが、昨年度と今年度では支援金額が2万円の差がある。 利用者にとっては大きな減額であり、そうなった理由と、今後、追加などの手当は考えていないのか。</p> <p>(2) 同事業は電気料金及び灯油の価格変動に対する生活支援であるが、国民年金生活者にとって冬期間の生活を送ることは特に厳しい状況である。 この制度の支援内容を改善し、支援金額を増額することはできないか。</p>	<p>収受 2/24</p>
<p>2 橋本 豊</p>	<p>1 公営住宅について</p> <p>(1) 町が被災者向けに建設した公営住宅の入居率が6割程度に留まっている。多額の経費を投じ建設したにもかかわらず、空室状況の長期化で、家賃収入が見込みを下回ることによる町財政への影響はないのか。また、入居率を向上させる方策は。</p> <p>(2) 災害公営住宅の駐車場は足りているのか。</p> <p>(3) 従前からある公営住宅の入退去における清掃状況の実態は。</p>	<p>収受 2/25</p>

		<p>2 ごみステーションの配置及び増設等について</p> <p>(1) 本町では、各地域にごみステーションが配置されているが、距離に応じた配置の改善や増設はできないものか。</p> <p>(2) 小動物（カラスやキツネ等）により、ごみステーションが荒らされているのを見かけることがあるがその対策は。</p> <p>(3) 地域外の者がごみステーションにごみ袋等を入れ、地域住民の使用に不便をきたしている事例がある。それらを防止する啓発等の対策は。</p>	
3	高田 芳和	<p>1 町内事業所への人材確保策について</p> <p>町内事業所の人材確保として介護職員育成支援事業、商工業振興事業、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業で町外からの移住者に対する補助は人材確保に対する取り組みを評価するが、これだけではインパクトが薄い。</p> <p>より効果的に人材を確保するため、次の施策をできないか。</p> <p>(1) 大学等を卒業し町内事業所に就職される方に対して、育英資金の償還免除。</p> <p>(2) 大学等を卒業し町内事業所に就職される方に対して、町独自の奨励金の支給。</p> <p>2 ペットの火葬場設置について</p> <p>現在、犬や猫は大切な家族の一員として共に暮らし、精神的なよりどころになっている。</p> <p>ペットが亡くなった時、町内にペットの火葬場がなく近隣の火葬場を探さなければならぬ飼主として不安に思っている。</p> <p>飼主が不安なく最期をみおくれるよう町内にペットの火葬場が必要と思うが、町長の考えは。</p>	<p>収受 2/26</p>
4	下司 義之	<p>1 こぶしの湯施設及び周辺環境整備</p> <p>こぶしの湯は厚真町内で数少ない重要な観光施設である。次の3点について質問する。</p> <p>(1) 平成30年胆振東部地震前には大規模改修の計画があったが、現在どの様になっているか。</p> <p>(2) 施設周辺環境整備に関し、町内観光の拠点としての構想を作成する必要があると思うが。</p>	<p>収受 2/26</p>

		<p>(3) (2) の構想を作成するにあたり、協議会的なものを設置し、活用者などの意見を反映できる仕組みが必要と思うが。</p> <p>2 公共施設整備 町道整備に関し質問する。 H30年北海道胆振東部地震により町道もかなりの影響を受けた。 応急復旧はかなり進んでいるが、生活に密着した路線の整備はまだ不十分かと思われる。 次の2点質問する。</p> <p>(1) 町道の改良に関し、住宅地内道路の整備計画はどの様になっているか。</p> <p>(2) 新町及び上厚真周辺は、近年公営住宅の再配置などにより交通導線が変化しているが、道路計画の見直しが必要ではないか。</p> <p>3 特産品開発機構 機構のあり方を検討すべき時期と思われるが。</p>	
5	秋永 徹	<p>1 役場新庁舎建設等について 令和2年11月26日の全員協議会並びに12月10日の第4回定例会で、厚真町財政計画について説明がありました。その中で、令和4年度・5年度に役場新庁舎建設事業が普通建設事業に計画されています。胆振東部地震から3年目に入り、復旧・復興がされている最中であり、昨年末に被災された方々が仮設から災害住宅等に移ったばかりあり、未だに、住宅・作業所の再建をされていない被災者もいる状況である。また、亡くなられた方々、被災され移転を余儀なくされた方々がいる中で、鎮魂の思いの中で前向きに動き出したばかりである。さらに、地域コミュニティーの再構築、北部地区再生計画など難しい課題に向き合おうとしているところである。また、コロナ禍の影響で本町産業は、著しい減益で厳しい経営状況にある。</p> <p>そのような状況で、令和4年度の役場新庁舎等建設は時期早々ではないか。もう少し復旧・復興が進み、コロナ禍の影響が収まってから町民の理解を得て建設出来ないか。</p> <p>2 農地の流動化について (1) 本町の耕地面積 5,420ha 及び経営耕地面積 4,713ha での年代別集積率、75歳以上の耕作数と面積はいくらか。</p>	収受 2/26

		<p>また、今後の集積率目標はいくらか。現在の販売農家数（中心的経営体）と5年後・10年後の販売農家数の予測はいくらか。さらに、農業従事者の高齢化・減少が進む中、農地の利用集積化・集約化に課題と考察はあるのか。</p> <p>(2) 農家子弟のUターンの促進や農外からの就農を志す新規参入者の確保のため関係機関と連携してやっているところである。総務省の地域おこし協力隊事業で町から総委嘱者40名の内18名が農業支援員で、3年間担い手センター中心に活動しているところである。4年目からは農地を確保して就農し農水省の農業次世代人材投資事業を5年間利用しながら農業者として定住・定着を図っているところである。入り口対策は良いのですが、4年目に農地を賃貸もしくは取得しなければならない。その時に、担い手の規模拡大との調整が地元の利用改善団体で苦慮している状況が散見され、新規農業者が農地の確保に苦労しているところである。農業委員会、町としてはどのように考えているか</p> <p>(3) 農地の適正な流動化を図るため、町・農業委員会・利用改善団体・関係団体と連携・調整機能を発揮しなければならない。今一度、農地の流動化について新規就農者を含めた調整システムを構築していただきたい。さらに、新規就農者の農地確保など出口対策が必要であると思われるが。</p>	
--	--	---	--